

大阪王将・冷凍餃子工場に太陽光発電設備を導入 CO2 排出量を年間で約 280t 削減

株式会社イトアンドフーズ(東京ヘッドオフィス:東京都品川区 代表取締役社長:仲田浩康)は、中華専門店「大阪王将」ブランドの冷凍食品を製造する関東工場(群馬県邑楽郡板倉町)に太陽光発電設備を導入、2023年1月より稼働を開始いたします。



株式会社イトアンドフーズは、株式会社イトアンドホールディングスのグループ企業として、「CO2 削減」を目指す取組みの一環として、2022年12月に関東工場へ太陽光発電設備を設置、2023年1月より稼働を開始いたします。導入設備は、太陽光パネル 1,369 枚、総パネル面積は約 2,735 平方メートル、年間想定発電量は約 576,739kWh となります。関東第二・第三工場で1年間に使用される電力の約 10%に相当し、約 280t の CO2 排出削減につながります。イトアンドグループとして初めての太陽光発電設備の導入です。

イトアンドグループは、サステナビリティ基本方針「Eat+&の幸せを次の世代へ。」のもと、「地球環境」「地域社会」「人とのつながり」を大切に、全てのステークホルダーの幸福につながる持続可能な社会の実現を目指しています。「CO2 削減」は、「Eat+&の幸せ」を将来へと持続させていくための重点取組みテーマの一つとして掲げており、その解決に向けた企業としての役割を強く認識し、取り組んでおります。

「CO2 削減」を含めた7つの重点取組みテーマに対する目標達成を進めることによって、「持続可能な社会の実現」と「グループの持続的な成長」の両立を目指します。

■イートアンドのサステナビリティ

サステナビリティ基本方針

Eat+&の幸せを次の世代へ。

「地球環境」「地域社会」「人とのつながり」を大切にし、全てのステークホルダーの幸福につながる持続可能な社会の実現を目指します。

7つの重点取組み

「Eat+&の幸せ」を、将来へと持続させていくために、「事業への影響」と「社会への影響」を考慮した「マテリアリティ（重点課題）」に基づき、「環境」「社会」「ガバナンス」の3つの視点より、7つの重点取組みテーマを選定いたしました。



＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社イートアンドホールディングス マーケティング戦略部 広報 PR グループ 半田

TEL:03-5769-5050 E-mail:eat-press@eat-and.jp